

令和5年度 総合的な学習の時間 全体計画 江戸川区立 鹿本 中学校

校長名 加納 学

名称: 総 合

学校の教育目標	自ら進んで学び、心豊かな生徒に育てる 自ら考え、自主的に行動する生徒に育てる 健康なからだ、気力あふれる生徒に育てる
---------	--

国が示す総合的な学習の時間の目標
探究的な見方・考え方を働かせ、横断的・総合的な学習を行うことを通して、よりよく課題を解決し、自己の生き方を考えていくための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1) 探究的な学習の課程において、課題の解決に必要な知識及び技能を身に付け、課題に関わる概念を形成し、探究的な学習のよさを理解するようにする。 (2) 実社会や実生活の中から問いを見だし、自分で課題を立て、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現することができるようになる。 (3) 探究的な学習に主体的・協働的に取り組むとともに、互いのよさを生かしながら、積極的に社会に参画しようとする態度を養う。

学校の総合的な学習の時間の目標
1 課題解決のために、情報を収集し、整理・分析し、それをまとめる力を育てる。 2 基礎基本を身に付け、それらを活用し、相手にわかりやすく伝える工夫や表現力を育てる。 3 課題解決に向けて計画的に取り組もうとする態度を育てる。 4 コミュニケーション能力を高め、活動に協同して取り組む態度を育てる。 5 地域社会や世界に貢献しようとする態度を育てる。

育てようとする資質や能力及び態度		
知識及び技能		
第1学年	第2学年	第3学年
家庭学習を習慣付けるとともに、定期考査に向けての学習計画が立てられる。	予習→授業→復習(家庭学習)のサイクルを習慣付ける。	長所を伸ばし短所を克服する努力をすること で自分の存在意義を見出す。
思考力・判断力・表現力等		
第1学年	第2学年	第3学年
・目的に応じて手段を選択し、情報を収集する。 ・学習の仕方や進め方を振り返り、学習や生活に生かす。	・必要な情報を収集し多角的に分析する。 ・相手や目的、意図に応じて論理的に表現する。	・複雑な状況の中から適切に課題を設定する。 ・課題解決を目指して事象を比較し、因果関係を推察する。
学びに向かう力・人間性等		
第1学年	第2学年	第3学年
・自らの行為について責任をもち、意思決定する。 ・互いの特徴を生かし、尊重しあう。	・自らの生活のあり方を見直し、日常的に実践する。 ・環境保全を考えて行動する。	・目標を明確にし、課題解決に向けて計画的に行動する。 ・課題解決に向けて社会活動に参画する。

内 容	学習対象	学習事項
第1学年	・様々な障害とその障害を抱えながらの生活 ・働くことの意味や働く人の夢や願い	・豊かな地域社会の創造を目指し、地域の人々と協同して進める活動や取り組み ・障害への理解と困っている人々への支援
第2学年	・住居地域以外の地域の農業や生産者との関わり ・働くことの意味や職業を選択するために今学ぶべきこと	・社会生活の一般常識、基本的生活習慣、協調性、積極性 ・地元を支える人々への感謝の心とより良くするための活動 ・それぞれの上級学校の特長及びその理解
第3学年	・京都、奈良の地域的特徴、歴史、文化 ・職業の選択と社会への貢献	・将来の自分や社会に役立つ望ましい生き方についての考察 ・報告連絡相談の日常における実践 ・自らの良さや可能性の自覚

学習活動	指導方法	指導体制	学習の評価
・1年生は「共生」「地域理解」「職業」、2年生は「職業」「進路」「共生」、3年生は「共生」「生き方を考える」を主なテーマとする。 ・3年間にわたって課題追究を行う。 ・「進路学習」については、縦断的横断的な学習を3学年にわたって展開する。	・言語活動、協同的な学習活動の充実 ・個に応じた指導の工夫 ・教科との関連的な指導の重視 ・体験活動の重視	・地域教育力の効果的な活用 ・担任以外の教職員による支援体制の樹立 ・進路学習部を中心とした情報の集積と活用	・個人内評価の重視 ・指導と評価の一体化の充実 ・学期末、学年末における指導計画の評価の実施